

第 5 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 2 年 5 月 18 日	会場	4 階大会議室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員					
欠席委員					

【報告事項】

(経済部)

1) 令和 2 年度 経済部・農業委員会事業概要について

農務課

- ・ 令和 2 年度の主要事業について、継続事業となるもの、拡充となるもの、新規事業となる主要なものについて説明を受けた。
- ・ 有害鳥獣駆除対策事業関係では、本年 4 月末時点でエゾシカ 128 頭、アライグマ 17 頭を駆除した事が報告された。
- ・ 農村女性活動支援事業補助金として、女性農業者の大特免許取得等への支援をする拡充事業、担い手支援資金利子補給補助金事業（新規）、哺育・育成センター整備事業補助金（新規）、水稻の密苗栽培試験（新規）で適応性を検討する等の事業計画が説明された。
- ・ 担い手や農地の流動化の課題について各地域の話し合いに基づき「人・農地プラン」の見直しに取り組む等の事業概要について説明を受けた。

耕地林務課

- ・ 森林環境譲与税活用事業として、人材育成・担い手確保、木材利用、森林整備等の施策内容の説明や、私有林森林整備等事業補助金では、森林経営に基づく公共補助事業（68% 補助）などで実施する森林施業に対し市の単独補助を行い森林所有者の負担軽減を図り森林整備を推進するなど、森林環境譲与税活用事業の合計では 2,449 万円の施策内容。
- ・ 農業農村整備事業では、農道や水利施設整備など、総事業費 8 億 5,688 万 3 千円となること等の説明があった。

産業振興課

- ・ 名寄で人づくり事業補助金の資格取得等に係る補助の変更内容（月 3 万円から限度額 12 万へ）、新型コロナウイルス感染症対策として、中小企業特別融資信用保証料補助（貸付利率全額を 3 カ年補助）、飲食店利用のプレミアム付き商品券事業（5 月 24 日から発売）、企業立地促進事業、ずっと住まいる応援事業（事業内容拡充）、旧公設卸売市場未使用建物部分の解体など、商工業振興費で 11 億 4,319 万 8 千円、観光費、スキー場費で 1 億 5,212 万 4 千円の事業概要について説明を受けた。
- ・ 市が独自に取り組む「事業継続支援給付金」（新型コロナウイルスにより 2 月～5 月までに前年比 30%以上売上減少した市内事業所に 20 万円交付）は、5 月 17 日までに 111

件の申請があり、5月15日に18件360万円を支給したこと、市が利子・保証料を負担する特別融資は、令和元～2年度合わせて34件の融資を実行したとの報告がされた。

交流推進課

- 令和2年度交流事業の概要については、新型コロナウイルス感染症の広がりにより未定となっているもの、中止したもの、時期をスライドして実施しようとしているもの、ネットを利用してオンラインで交流しようとしているもの、代替え事業として開催しようとしているものなど、今後関係者間で打ち合わせしながらの取組みとなる事等が報告された。

農業委員会

- 農地法等に基づく申請等の許可及び審査状況、農業者年金に関する審査及び進達、農業農村振興施策に関する意見書提出、農地のあっせん事業、農業後継者に関する事業について内容の説明を受けた。
- 農地法3条（農地の権利移動）に基づく許可件数34件、農地法5条（農地転用）では6件、農業経営基盤強化促進法に基づく申請で169件の取扱いがあったとの報告を受けた。
- 農業者年金に関しては、令和元年度状況として、経営移譲年金受給者213名、旧年金高齢農業者年金受給者218名、新年金高齢農業者年金受給者108名、農業者年金被保険者数176名との報告を受けた。
- 令和元年度の農地あっせん成立件数
名寄地区 16件 65.5 ha
風連地区 24件 100.8 ha
- 農業後継者に関する事業では「名寄市婚活事業」の取組み等についての報告があった。

2)第2回定例会 経済部所管事業 補正予算概要について

- 産業振興課からピヤシリスキー場整備事業費として、暗渠管設置工事・配線用ブロックマンホール補修工事365万2千円のほか、緊急に整備すべき工事について補正予算を組むことの説明があった。

(建設水道部)

1)令和2年度 建設水道部事業概要について

- 建設工事発注予定事業の説明があった。令和2年度の予定委託業務として32件6億6,598万1千円、予定工事55件11億234万6千円で合計87件17億6,832万7千円を予定していることや、予定委託事業、予定工事の事業概要等について説明を受けた。

2)令和元年度 除排雪事業について

- 令和元年度の累積降雪量は615cmで雪の少なかった平成30年度の692cmをさらに下回った。苦情件数は126件で（前年度107件）やや多かったものの、雪の降り方に起因した「除雪がいつ入るか」、「道路から間口側に雪が入る」等のものがあった。
- 令和元年度排雪ダンプの助成事業では一般住宅494件の申請で1,306台、店舗併用住宅で22件54台の利用となっている。

3)財産の取得について

- ・除雪専用車を5,686万7千円で導入する。5月19日仮契約、令和3年3月納入予定。

4)名寄市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について

- ・道路構造令の一部改正の政令公布に伴い「自転車通行帯」の条文を新規追加するもの。

5)名寄市営住宅に係る債権（住宅使用料）の放棄について

- ・過年度住宅使用料が請求不能となったもの。1人3件で392,800円（専決処分）

6)水道事業に係る債権（水道料金）の放棄について

- ・生活困窮等により回収の見込みのない水道料金の債権放棄。7人59件で96,440円（専決処分）

7)その他

- ・風連の瑞生団地、名寄の栄町団地の入居者に対して、次の住まいの意向確認など、事業の説明をすることについて報告された。

以上で第5回経済建設常任委員会を終えた。